

不安を自信に変える心電図トレーニング

専門医の tips を詰め込んだ 50 問

正誤表

このたびは『medicina』59 卷 9 号 (2022 年 8 月号) 特集「不安を自信に変える心電図トレーニング——専門医の tips を詰め込んだ 50 問」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

本誌におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2022 年 9 月 2 日作成

訂正箇所	誤	正	掲載
勝木 知徳「いつもと違う形の P 波」(p.1427~1428) 内 p.1427・心電図の左側最下段の波形	aV_R	aV_F	2022/9/2
高麗 謙吾「右脚ブロックは経過観察で OK?」(p.1451~1453) 内 p.1452・A2 の解説右段・14~15 行目	左軸偏位があり左脚後枝ブロックを合併している所見がないか	左軸偏位があり左脚前枝ブロックを合併している所見がないか	2022/9/2
石沢 太基・堀内 優「これはすぐに循環器!!」(p.1463~1464) 内 p.1463・Q1 の選択肢	(B) I , aV_L 誘導	(B) I , aV_L , $V_{2\sim4}$ 誘導	2022/9/2
石沢 太基・堀内 優「これはすぐに循環器!!」(p.1463~1464) 内 p.1464・A1 の正解	(D) $V_{1\sim6}$ 誘導, つまり胸部誘導で ST 上昇を認める。	(B) I ・ aV_L ・ $V_{2\sim4}$ 誘導で ST 上昇を認める。	2022/9/2
石沢 太基・堀内 優「これはすぐに循環器!!」(p.1463~1464) 内 p.1464・A1 の解説左段 1~4 行目	$V_{1\sim6}$ 誘導での ST 上昇に加え, I ・ aV_L 誘導にて陰性 T 波, II ・ III ・ aV_F 誘導での ST 低下をきたしており, 胸部誘導に対する鏡面変化 (mirror image) を認めている。	I ・ aV_L ・ $V_{2\sim4}$ 誘導での ST 上昇に加え, II ・ III ・ aV_F ・ V_6 の ST 低下を認め, 前壁側および前側壁側の ST 上昇と対側での鏡像変化 (mirror image) を認めている。	2022/9/2
佐橋 勇紀「ストレインパターンとは何か」(p.1493~1494) 内 p.1493・Q1 の設問	本症例の心電図で認められる所見はどれか? (2 つ選択)	本症例の心電図で認められる所見はどれか? (1 つ選択)	2022/9/2

佐橋 勇紀「ストレインパターンとは何か」(p.1493～1494)内 p.1494・A1 の正解	<u>(A) (E)</u>	<u>(A)</u>	2022/9/2
佐橋 勇紀「ストレインパターンとは何か」(p.1493～1494)内 p.1494・A1 の解説左段 9 行目	そのなかでも最も一般的に使われている基準は Sokolov-Lyon 基準であり,	そのなかでも最も一般的に使われている基準は Sokolov-Lyon 基準であり,	2022/9/2
佐橋 勇紀「ストレインパターンとは何か」(p.1493～1494)内 p.1494・A1 の解説左段 21～22 行目	本症例でも $V_{5\sim6}$ で 2mm 以上の ST 低下を認める.	本症例でも $V_{5\sim6}$ で 2mm 以上の ST 低下を認める. <u>また Sokolov-Lyon 基準はよく用いられるが, 9 項 (p1440) の通り感度は低い. 本症例もその基準を満たさないが, 左室肥大を認めた症例である.</u>	2022/9/2